

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第1学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く姿勢はあるが、内容を理解することには課題がある。 文章を読むときに拾い読みになってしまい、文意を読み取れない児童がいる。 平仮名の学習では、促音や拗音、助詞の「は」「を」及び「へ」を正しく使うことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 「聞くこと」のポイントを具体的に挙げ、内容を理解できたかどうか振り返る時間をとるなど、話し合い活動を計画的に取り入れた授業を展開する。【対話・表現】 読んだ本について感想を交流したり、語彙を増やしたりするなど、読書活動の充実を図る。【決定・表現】 作文や日記に継続的に取り組ませ、文章を書く機会を増やす。【表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いる場面で、説明を理解して、正しく扱うことが不十分である。 10までの数の分解を間違える児童がいる。 問題文を理解できず、求差の立式で足し算にしてしまうことが多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体物を用いる授業を計画的に取り入れ、活動の機会を増やす。【表現】 学力向上委員会から出ているプリントやeライブラリ等を活用し、反復練習を行う。【決定】 具体物を操作する、図に表すなどの活動を計画的に取り入れる。また、日常生活の場面を加法や減法の式に表すなど、児童が主体的に解決する授業を展開する。【決定・表現】 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> 観察カードを「かく」技能に差がある。また、観察している時に、見たものではなく、書きたいものを書いてしまう児童もいる。 様々な経験が不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 観察の視点を具体的に提示し、体験する時間を充分確保する。【発見】 体験する時間を十分に取し、気付いたことを伝えたり、話し合ったりする授業を展開する。【対話・表現】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 知っている歌はよく歌うが、知らない歌を覚えて歌おうとする意欲が低い児童がいる。 打楽器や鍵盤ハーモニカの演奏など、リズムを上手に取ることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業者が手本となり、楽しい雰囲気づくりに努める。また、積極的に活動している姿を賞賛するなどして、肯定感を高めていく。【発見】 基礎的、基本的な知識技能を習得させるために反復練習や学び合いの活動を取り入れた授業を展開する。【対話・表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に活動しようとする意欲はあるが、経験に差がある。 のりやはさみの使い方が適切でない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな用具や材料に触れ、活動の幅を広げる。【発見・決定】 正しい用具の使い方を指導する。【表現】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 動きの不器用さや、未経験による自信のなさから、心を解放して運動を楽しめない児童がいる。 筋力が低く、体を支持したり、基本的な動きをしたりすることが不十分である。 	<ul style="list-style-type: none"> 安心して授業が行えるように、安全には十分配慮する。また、授業者が手本となり、楽しい雰囲気づくりに努める。【発見】 練習方法や教具を選んで運動できる授業を展開し、運動の機会を増やす。【決定】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第2学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・助詞や「」の使い方、拗音・長音などの表記の習熟が十分でない児童がいる。 ・語彙が少なく、既習の漢字やカタカナを日常生活で正しく活用できない。 ・聞いて理解するのが苦手である。話を最後まで集中して話を聞くことができず、途中で発言してしまう児童が多い。 ・人前で話すことが苦手な児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を、自分で読み返したり、友達と読み合ったりする活動を設定する。日記などの書く活動を継続して行い、日常的に文章を書く経験が積めるように指導し、習熟を図る。【発見・表現】 ・読書活動を積極的に取り入れたり、教科書巻末の「ことばのたからばこ」を活用したりして、いろいろな言葉に触れさせる。継続的に文字指導を行い、間違いは丁寧に直すようにする。【表現】 ・話を聞くときのルールを繰り返し確認する。友達の話や考えに関心をもち、自分の考えと比べたり、共感したりする中で、自分の考えを深める。【発見・表現】 ・ペアやグループでの活動を積極的に取り入れ、自分の思いを伝えたり、他者の考えに触れたりする機会を意図的に設定する。【対話・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・指を折りながら数えたり計算したりする姿がまだあり、10以上の数の概念が難しい児童もいて、差が広がっている。 ・時間の計算の理解が不十分。 ・筆算の仕方は繰り返し練習が必要。水のかさや長さの単位換算が苦手な児童がいる。 ・文章問題を読み取れず、立式できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めや朝学習の時間などを活用し、100マス計算などを継続的に取り組む。徐々に半具体物を使用しない計算の定着を目指す。【発見】 ・日常生活の中で、時間に関わる場面を見出すようにする。【発見】 ・図や具体物を使用し、数を視覚的に捉えられるようにする。また、実測したり、自分の指幅など体を使った計測を用いたりする中で、量感を養う。【発見】 ・問題把握の際、問題文の「分かっていること」と「求めるもの」に線を引くなどして明確にする。また、「合わせて」などのキーワードに着目させたり、図から立式を考えたりしながら、問題場面をつかみやすくする。【発見・表現】 		
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・夏野菜の育ち方や生き物の観察など、始めは意欲的に取り組んでいるが、体験して終わりになっている。 ・経験不足の児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の気付きから課題を設定する。また、学習を振り返る時間を設定し、次の課題をもたせる。【対話・表現】 ・身近な話題を取り上げることや、体験活動を行うこと、タブレット端末を活用することなどを通して、児童自身に関係する問題として学習を捉えられるようにする。【発見】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・表現することを楽しみ、興味・関心をもって授業に取り組む児童が多い。 ・器楽（主に鍵盤ハーモニカ）では、基礎的な力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分が演奏する楽しさ」だけから、「みんなで演奏する楽しさ」を感じて演奏できる児童が増えるよう、ペアや小グループなど変化のある活動を取り入れる。【対話】 ・器楽については、楽しみながら練習できるように教材を工夫する。【表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・はさみなど使い方が上手になってきた。一方で、折る・貼るなどの基礎技能に個人差が見られる。 ・完成を急ぐあまり、仕上げが雑になることがある。 ・描きたいことの中心を捉えることが不十分な様子が見られ、想像したり表現したりすることが苦手な児童がいる。 ・他者の作品の鑑賞をして、感想を言葉で表現したり、よい所を見付けたりすることに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「切る・折る・貼る」活動を意識的に取り入れ、技能が身に付くようにする。【表現】 ・作例や見本を分かりやすく提示し、丁寧に仕上げた作品のよさに気付くようにする。【発見】 ・グループワークやタブレットなどを活用し、自他の発想をつないだり共有したりすることで、発想の幅を広げる。【対話・表現】 ・お互いに作品を鑑賞し、よい点を見付けて伝え合う活動を取り入れる。【発見・表現】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・助言を基に、基本的な運動や動きができるようになってきている。 ・ルールを理解しないまま、周囲に合わせて行動している子がいる。 ・ボールを使った動きに不慣れな様子が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スモールステップでできる運動遊びを増やしていく。ICT機器などを活用し、手本や練習方法を学べるようにする。【表現】 ・ルールや約束を明確に示すようにする。遊びやゲームを通して、順番やきまりを守ることや協力して仲良く勝敗を競うことの大切さを経験できるようにする。【発見・対話】 ・楽しんで取り組めるようにそれぞれの運動遊びにゲーム性をもたせて、遊びながらいろいろな動きを経験できるように工夫していく。【発見・表現】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第3学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 習った漢字や拗音、長音、促音を正しく使って、文を書くことができない。 話の中心を捉えて話したり聞いたりすることが不十分である。 文章を読んで、自分の考えを述べることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 新出漢字学習で言葉探しや短文作りを行い、日常的に書けるよう、反復練習に取り組む。【表現】 話し方、聞き方のポイントを掲示し、ペア、グループで話し合う際に、意識できるようにする。【対話】 読書活動の充実を図り、感想を伝え合う場を作る。【対話・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 時間と時刻の違いや1時間＝60分、ということは覚えられても、問題文から時刻と時間のどちらを求めるのか分からなくなる児童がいる。 大きい数のたし算やひき算の筆算は計算ミスがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常の場面で活用したり、自分の言葉で説明をする機会を多く作ったりして、定着を図る。【対話・表現】 「eライブラリ」や「計算スキル」を活用するなど、反復練習を行う。また、筆算はノートのマスを使って、必ず線り上がりや線り下がりを書くようにする。問題を解き終わっても消さないこと、必ず見直しをするように指導する。【決定・表現】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 観察や実験に意欲的に取り組むが、観察や実験の結果等から考察し、まとめることができない児童が多い。 理科の用語や実験器具を正しく使うことに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に問題解決できるよう、①課題発見②予想③計画④実験・観察⑤考察⑥まとめの学習の流れに沿って授業を進める。【発見・決定・表現】 実験・観察する際の器具の扱い方を丁寧に指導し、まとめの際には、理科の用語を押さえる。【決定・表現】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料で示している情報を的確に読み取ることに課題がある児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> どこに着目して読み取ればよいか分かるよう、資料の読み取りの視点を示し、対話を通して理解が深められるようにする。【発見・対話】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 「表現すること」、「聴くこと」は興味・関心をもって取り組めるが、学習を深めていくところでは気持ちが持続しない。 器楽（リコーダー）では基礎的な力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 合唱や合奏のゴール（お手本）を示したり、互いの演奏を聴き合って良さを見つけたりしながら学習を進める。【発見・対話】 一人一人の技能向上を目指し、基礎的な技能を身に付けていくために、興味のもてる楽曲を使用したり、楽器奏法を段階的に進めたりしていく。【表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 活動に意欲的な児童が多いが、身近で扱いやすい材料や用具の基本的な扱い方に慣れていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 諸感覚や技能を働かせる活動を取り入れ、材料や用具の扱い方に十分慣れるようにする。【発見】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 体を動かすのが好きな児童が多いが、自分の思うように体を動かせない児童が多い。 ゲーム領域では、ルールを理解するのが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体づくり運動を中心に、どこの体の部位を使っているのか意識させて、体づくりをしていく。【発見】 簡単なルールを示し、始めにゲームに取り組み上手くいったことやいかなかったことを話し合い、実際に体を動かしながらルールを工夫していけるようにする。【対話】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第4学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 学習した漢字が身に付いていない。文章中で学習した漢字を適切に使用することの苦手な児童が多い。 文章を書くこと、大勢の前でのスピーチすることに苦手意識をもっている児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 朝学習や宿題等で復習し、基礎の定着を図る。漢字の使い方、意味を知ること、適切に使用できるようにしていく。【発見】 授業以外の場でも、書いたりスピーチしたりする機会を設ける。お互いに見合ったり聞き合ったりすることを楽しみ、苦手意識を軽減していく。【対話・表現】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> わり算や小数の筆算では、計算の仕方は理解しても定着が不十分である。 角の大きさなど見当を付けて考えたり、答えの見通しをもって問題を解いたりすることが難しく、作図や立式で間違っているにもかかわらず気付くことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「e ライブラリ」や「計算スキル」を活用するなど、反復練習を行う。【発見・決定】 抽象的な問題では、図をかいて意味を考えたりどのくらいの大きさになるか見当を付けてから解いたりするように指導する。また、説明する活動を通して、問題に対する理解を深める活動を多く取り入れる。【表現・対話】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題に対して予想を立てることはできるが、根拠をもって考える力に個人差がある。 実験結果を基に、どのようなことが考えられるか論理的に思考する力、生活に生かそうとする力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活経験や学習経験と予想の根拠を結び付けて考えられるように、様々な考え方を全体で共有する時間を確保する。【発見・対話】 結果から分かったことをまとめ、文や図でノートに書き表したりするなどの活動を充実したものにする。【表現】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 学習した社会的な事象や課題を自分のことと関連付けて考える力に個人差がある。 グラフや表などの資料を読み取る力、活用する力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の生活に関連する資料の提示や発問を具体的に挙げる。様々な考え方や見方を学べるようにグループ学習を充実する。【対話】 ICT で具体的に資料を提示したり、資料を読み取る際のポイントを確認したりする。【発見】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> どんな曲想の楽曲にも、柔軟に取り組む雰囲気がある。 歌唱では、発声の仕方は分かっているが、意識できない児童が多い。 器楽では基礎的な力に個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 曲の良さを感じて演奏したり、自分たちで目標を決めて練習したりする。【対話】 コンサートなど発表曲を設定し、意欲を高めると同時に、学年全体としての声を意識できるようにする。【表現】 器楽の学習では個人での反復練習時間を多くもち、自信をもって表現できるよう技術向上を目指す。【表現】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自信がなく、内容によっては主体的に活動しない児童がいる。 用具の取り扱いに注意を払っていない児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> 製作過程を大切に、主体的に活動できるように指導を工夫する。【発見】 正しい用具の使い方を指導する。【表現】 		
体育	<ul style="list-style-type: none"> 児童によって運動能力や経験に差がある。特にボールを使った運動においては得意、不得意な児童によって意欲が異なる。 自ら課題を見付ける力は備わっているものの、その課題を解決するための論理的思考力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 補助運動等で必要な動きを身に付けられるように工夫する。器械運動やボール運動では習得する技能のポイントを明確にするための掲示物を作成する。【発見】 授業時間内に、課題について話し合う時間を確保する。また、課題について学級全体で気付いたことを共有する時間を設ける。【対話】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2 学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第5学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2 学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・学習した漢字が身に付いていない。文章中で学習した漢字を適切に使用することの苦手な児童がいる。 ・説明文において、文章の話題と全体の構成から筆者の考えを捉え、まとめることの難しい児童がいる。 ・話し合いをする際に自分の考えを活発に発言することが苦手な児童や相手の考えを聞くことに課題がある児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習等の時間を確保して、繰り返し練習し、基礎の定着を図る。漢字と仮名を適切に使い分けて書くように指導する。【表現】 ・筆者の考えに基づく表現などを学級全体で確認したり、活動途中で文章を読み返したりする時間を確保する。【発見】 ・ペアやグループ等の小集団規模で話し合い、自分の考えをしっかりと発表する経験を積む。また、友達の考えも最後まで聞くことができるように指導する。【発見・対話・決定】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・小数のかけ算やわり算の筆算では小数点の移動の理解が不十分で、正確に計算できない児童がいる。 ・前学年の学習の定着が不十分で、問題の意味は理解できても、計算に時間を要する児童が多い。 ・抽象的な問題では、大きさや量など答えの見通しをもつことが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「e ライブラリ」や計算スキルを活用するなど、反復練習を行い、ケアレスミスをしないう、見直しをする習慣を身に付けさせるよう指導する。【表現】 ・計算はノートのマス目を使って書き、小数点は必ず書いて動かす習慣を身に付けさせるよう指導する。【表現】 ・身の回りのものの大きさや量などの見当を付けることができるように日頃から量感を意識して指導を行う。【発見】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のための実験を行う際、条件制御を考えることに難しさを感じている児童がいる。 ・観察や実験結果からどのようなことが考えられるか考察することに関して個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験する際の条件を一つ一つ整理し、「どんな目的で」「何を調べるのか」などに立ち返りながら実験内容を話し合いで決めていく。【決定】 ・結果と考察を分けて考えるようにする。小グループでそれぞれの考えを話し合わせ、学級全体で共有する時間を確保する。【対話】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の資料を関連付けて読み取り、考察することが難しい児童がいる。 ・学んだことを関連付けて図や文章等で表現することが難しい児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料を読み取る視点を示し、見通しをもてるようにする。【発見】 ・「資料から分かった事実からどのようなことが言えるのか（考えられるのか）」を問い掛け、振り返ったり、まとめたりできるようにする。【表現】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や鑑賞への意欲はあるが、学習を深めていくことは難しい児童が多い。 ・歌唱は、気持ちが盛り上がると地声になってしまう児童がいる。 ・器楽では、技能面で個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような演奏にしたいか考えたり、互いの演奏を聴き合ったりして、演奏をよりよくしていくための目的意識をもてるようにする。【対話・表現】 ・変声期の児童に配慮しながら、どのような声でどのように歌いたいのか、思いをもてるようにする。発声の仕方を指導し、使い分けられるようにする。【表現】 ・器楽指導では、レベル別に楽譜をいくつか用意して、楽しみながら技術を向上できるようにする。【表現・決定】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲的に活動するが、協調性の面で努力を要する児童がいる。 ・用具の取り扱いに注意を払っていない児童が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動の際に他者の考えを聞くなど、他者の考えを受け入れる場面を設定する。【対話】 ・正しく安全な用具の使い方を指導する。【表現】 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・学習意欲はとても高いが、調理器具の扱い方、裁縫の技能などに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに教え合う機会を設け、全体の技能を高めていく。また、家庭学習の時間を利用するなどして技能の習得ができるよう、家庭に呼び掛ける。【対話】 		

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの全国平均を下回る児童が多く、基礎体力定着の個人差が大きい。 ・個々に見付けた工夫を、友達と伝え合ったり、教え合ったりすることができない児童が多い。 ・ゲーム領域では、勝敗にこだわりすぎて、相手を責めてしまったり、審判に文句を言ったりしてしまい、友達と協力して課題を解決できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間をたくさん確保し、基礎体力の向上を目指す。【発見】 ・アドバイスタイム等を設け、話し合う時間を確保したり、どのように話し合えばよいのか示したりする。【対話】 ・運動が得意な子もそうでない子も活躍できるような「初めのルール」を示し、友達と協力して楽しく活動できるようにめあてを設定する。【発見】 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・意欲は高いが、技能の差がある。アルファベットA～Zまで大文字、小文字で全て書くことができる児童とそうではない児童がいたり、日付や曜日が定着していない児童がいたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲームやアクティビティを通して、アルファベットや英単語を書く活動を行い、英語を書くことにも慣れ親しめるようにする。【表現】 ・友達と英語を使ってコミュニケーション（話す・聞く・書く）をとる時間を多く設定する。【対話】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

第6学年における各教科で取り組む授業改善の具体的な取組

教科	教科の特質を踏まえた課題	課題解決のための授業改善策	達成の状況	
			2学期末	年度末
国語	<ul style="list-style-type: none"> 課題に対して自分の考えを整理して、相手に分かりやすく話したり、文章を書いたりすることに個人差が見られる。 日常的に既習の漢字を適切に使用したり、文の構成（主語・述語・修飾語）を正確に判別したり、語彙力を付けたりすることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループ活動、全体での話し合いを取り入れ、友達と交流しながら学習できるようにする。【発見・対話・決定】 詩の暗唱、漢字小テスト、読書記録、新聞活用、文章の推敲など、常時活動を継続的に行う。【表現・決定】 		
算数	<ul style="list-style-type: none"> 割合を使った文章問題が理解できない児童が多い傾向にある。 通分や約分が苦手である。 小数のわり算で、小数点の移動の理解が不十分で正確に計算できない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 何を求める問題なのかを意識し、計算の反復練習を行う。また、数直線をかくことや図や表で表したりすることを習慣付けて、そこから立式することに慣れる。【決定・表現】 計算ノートの右側などに大きく書き、間違いを消さず、残す習慣を付け、見直しにより修正できるようにする。【決定】 分数のたし算や小数のわり算など、四則計算について、算数の時間の始め5分間に、既習内容の計算問題を繰り返し行う。【発見】 		
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験器具の扱い方や実験手順の理解が不十分な児童がいる。 結果から何が分かったのか考察することに関して個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> 動画を活用して確認をし、実験のイメージをもちやすくする。【発見・決定】 結果と考察を分けて考えるようにする。何のために実験を行っていたのか確認したり、小グループでそれぞれの考えを話し合い、学級全体で共有する時間を確保したりする。【対話・表現】 		
社会	<ul style="list-style-type: none"> 歴史の主な事象を関連付けて理解する力に課題がある。 資料を個別に調べる意欲は高いが、複数の資料を関連付けて考える力に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体のどの部分の学習なのか理解しやすいように年表を工夫して提示する。また、歴史上の主な事象について、人物や出来事がどのように関わり合っているのか意識できる課題設定を行う。【発見・決定】 一つの事象を比較・関連付けて多角的に考えられるような複数の資料を精選し、読み取ったことを話し合いで深める。【発見・対話】 		
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 合唱、合奏には意欲的に取り組んでいるが、全体で音を合わせることの良さを十分に感じられていない児童が多い。 器楽では技能的な力の差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ペアやグループでの発表を取り入れ、互いに聞き合うことで、友達と音を合わせることの楽しさや重なりを感ずることができるようになる。【表現・決定】 技量にあった楽曲を提示し、できることを楽しみながら積み重ねていけるようにする。【表現】 個々の課題や力量に合った内容で発表し合い、卒業に向けて、合唱、合奏の意識を高くもてるようにする。【対話】 		
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 意欲はあるが、計画を立てて表すことに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な用具や材料の特徴を生かすことで、児童の表現の幅を広げるよう指導する。【発見・決定】 		
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活の中で、学習したことを家庭で実践する児童が少ない。 裁縫や調理などの実習に意欲的に取り組む児童が多いが、技術面での個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したことを自分の生活に生かせるように実践例を提示し、家庭にも協力を呼び掛ける。【決定・表現】 個別指導の時間や友達同士で教え合う時間を設けながら、技術面に対して自信をもてるように指導していく。【対話・決定・表現】 		

令和7年度 府中市立府中第七小学校授業改善推進プラン（各学年の取組）

体育	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの全国平均を下回る児童が多く、基礎体力の定着や運動能力の個人差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動時間をたくさん確保したり、多様な動きを経験する時間を設けたりし、基礎体力の向上を目指す。【発見・対話・表現】 		
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・文字言語が何を表しているのかの理解に個人差がある。 ・アルファベットを4本線の正しい位置に書くことに個人差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音練習の際には、音声のみだけでなく、綴りやイラストなどを提示しながら練習し、音声言語と文字言語が一致しやすいようにする。【発見・対話】 ・書くことの練習を繰り返し行い、定着を図る。【決定・表現】 		

※達成の状況は、A：十分達成できている、B：概ね達成できている、C：あまり達成できていない、D：達成できていないで、2学期末、年度末に評価する。